

平成 26 年 6 月 30 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橋高 公久
電話番号 03-5572-0233

オーストラリア イクシス LNG プロジェクト ガス輸送パイプラインの敷設作業の開始について

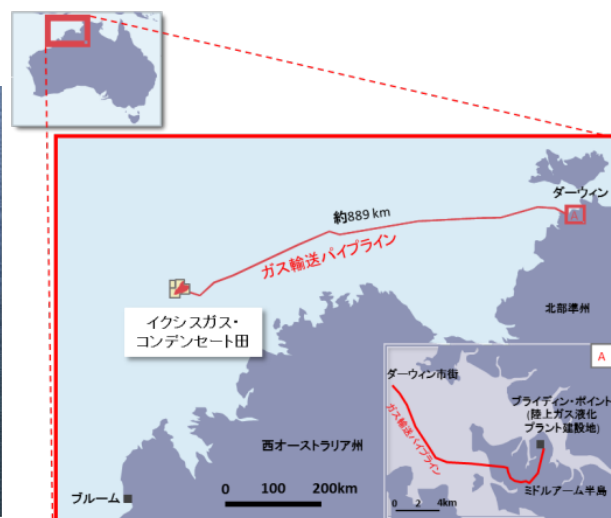
国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、オーストラリアで操業主体（オペレーター）としてプロジェクトパートナーとともにイクシス LNG プロジェクト（以下、本プロジェクト）の開発作業を進めております。

当社は、西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田とオーストラリア連邦北部準州に建設中の陸上ガス液化プラント（以下、LNG プラント）を結ぶ総延長約 889 キロメートルのガス輸送パイプライン（以下、本パイプライン）の敷設作業を、6 月 28 日にダーウィン港近郊の浅海エリアから開始しましたので、お知らせいたします。

今般の本パイプライン敷設作業開始は、本プロジェクト推進の全体スケジュールに沿うものであり、当社は 2016 年末までの生産開始に向けて着実に取り組んでまいります。



浅海エリアにおける敷設作業船「SEMAC-1」



ガス輸送パイプライン敷設マップ

本パイプラインは、西豪州沖合イクシスガス・コンデンセート田に設置する「沖合生産・処理施設（以下、CPF：Central Processing Facility）」で分離・処理されたガスを輸送する直径 42 インチの大口径海底パイプラインであり、LNG プラントが建設されるダーウィンまでを結ぶ大動脈として機能します。

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

当社は、半潜水式のパイプライン敷設の専用船「SEMAC-1」を動員し、安全第一と地域環境に最大限注意を払いながら、今後約 80 日間に渡り、ダーウィン湾を起点に約 164 キロメートルの浅海エリアで敷設作業を行ってまいります。

イクシスガス・コンデンセート田の洋上に位置する CPF までの残る約 718 キロメートルのパイプラインの敷設は、深海でのパイプライン敷設作業に特化した最新鋭の専用船である「カストローネ」を別途動員し、敷設作業にあたる予定です。



最新鋭の深海専用パイプライン敷設船「カストローネ」

当社は、今後も、本プロジェクトに関係する地域コミュニティの方々、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府等のオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々のご理解とご協力を得ながら、このプロジェクトの成功に向けて引き続きまい進する所存です。

以上

イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトは、当社が操業主体（オペレーター）としてトータル社、東京ガス、大阪ガス、中部電力および東邦ガスとともに、オーストラリア連邦西豪州沖合に位置するイクシスガス・コンデンセート田より産出される天然ガスを、オーストラリア連邦北部準州のダーウィンに建設するガス液化プラントにて液化し、年間840万トンのLNG（液化天然ガス）および年間160万トンのLPG（液化石油ガス）として生産・出荷するとともに、FPSO等から日量約10万バレル（ピーク時）のコンデンセートを生産・出荷する計画です。本プロジェクトは、40年という長期に渡っての稼働が見込まれる世界的にも大規模なLNGプロジェクトです。当社は、1998年の公開入札により本プロジェクトが位置する鉱区の探鉱権を取得、その後の探鉱・評価作業や基本設計作業などの開発検討作業を経て2012年1月に最終投資決定しました。現在、2016年末までに生産を開始すべく順次開発作業を実施中です。

特設サイト - イクシス LNG プロジェクト

イクシス LNG プロジェクトの詳細は、特設サイトにてご確認ください：

<http://www.inpex.co.jp/ichthys/index.html>